

平成 20 年 6 月 25 日

各 位



会 社 名：株式会社ディーアンドエムホールディングス  
(コード：6735 東証一部)  
代表者名：代表執行役 CEO エリック・シー・エヴァンズ  
問合せ先：取締役兼執行役 CFO 本多 慶行  
( T E L : 044-670-1111 (代表))

## 公開買付けに関する合意書締結について追加のお知らせ

平成 20 年 6 月 20 日付で開示いたしました株式会社 BCJ-2 との公開買付け合意書締結に関しまして、当社は、当社第 2 位の株主でありますコーニンクレッカフィリップスエレクトロニクスエヌビより、同社は本公開買付けを支持する意向である旨説明を受けております。

なお、参考資料といたしまして、本日開催の株主総会資料を開示いたします。

# 概要

去る6月20日、D&Mとベインキャピタル(Bain Capital Partners LLC)は、ベインキャピタルが、新たに設立する特別目的会社を通じて、D&Mの全ての普通株式の取得を目的とする公開買付を行うことで、合意いたしました。

買付価格は、2008年6月19日までの過去6ヶ月間の平均終値に37.1%のプレミアムを上乗せした1株510円を予定しております。

# 概要

ベインキャピタルは、D&Mの親会社であるRHJインターナショナルエス・エーとも合意を結んでおり、RHJインターナショナルエス・エー が保有する全D&M株を取得する予定です。

第二位株主のPhilipsも、本公開買付を支持しています。

本公開買付が順調に進んだ場合、D&Mは非公開会社となる見込みです。

- TOBが予定通り完了した場合、D&Mは東京証券取引所の上場基準を維持できなくなります。
- 非公開会社となることは、成長機会を追求する上でD&Mにとって有利であると考えています。

## 本公開買付けに同意した背景

ベインキャピタルとのパートナーシップは、当社の今後の成長にとって有益と考えたからです。ベインキャピタルは、当社の事業戦略を支持しており、その支援に必要な経験、能力を十分持っています。

## 本公開買付けに同意した背景

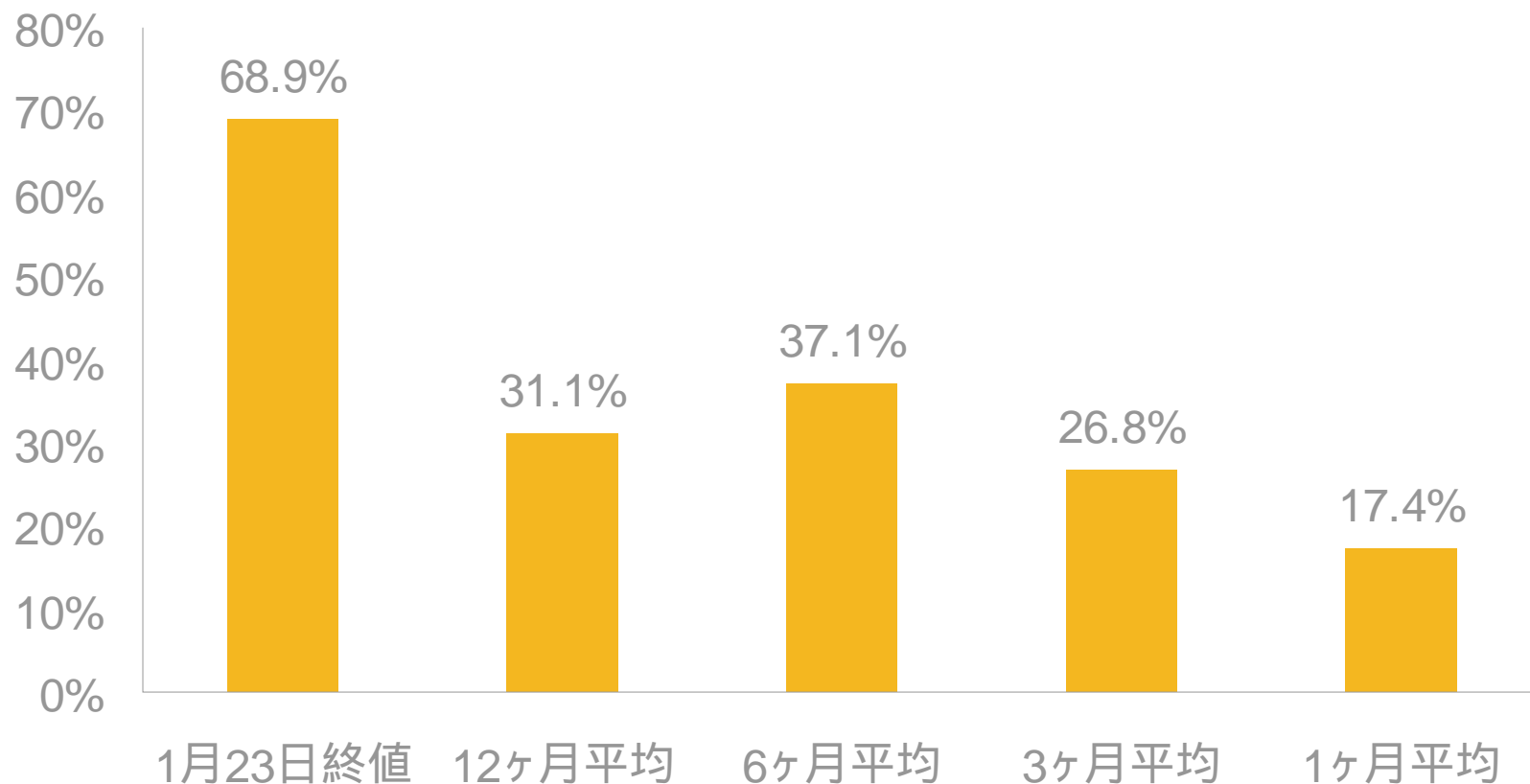
ベインキャピタルとの取引が、総合的に見て株主の皆様にとってベストであると判断しました。

- D&M取締役会は、アーンスト&ヤング・トランザクション・アドバイザー・サービスを使って、買付価格の評価を行っており、510円の買付価格は適正な範囲内であるとの中間報告を受け取っています。

# 買付価格のプレミアム率

D&M

## 買付価格 (510円)の過去の株価に対するプレミアム率



本公開買付に関する推測記事が出される前

# ベイン・キャピタルについて

D&M

ベインキャピタルは、約780億ドル(約8.2兆円)以上の資産を運用する世界的な投資会社です。

1984年の設立以来、世界各国の多岐にわたる産業分野で、300社以上への投資を行っています。

(投資先企業の例)

バーガーキング、ダンキンブランズ、AMCシアターズ、MEIコンラックス、NXP、サンテレホン、トイザらス、ワーナー・ミュージック・グループ、センサータ・テクノロジーズ、FCI

# ベイン・キャピタルについて

D&M

世界で300名以上のプロフェッショナルが投資業務、および投資先企業の支援業務に従事しています。

本社は米国ボストンにあり、東京、ニューヨーク、ロンドン、ミュンヘン、香港、上海に拠点を有しています。

## 今後の予定

本公開買付は、今後5週間以内に開始される予定です。

ベインキャピタルは、日興コーディアル証券を通じて、D&Mの全ての株主に、株式買取の手続きなどについてのお知らせを送る予定です。

本公開買付は、開始後約6週間の期間、実施される予定です。

## 今後の予定

本公開買付の完了後、D&Mの臨時株主総会が開催される予定です。

開始公示までは、TOBが中止される可能性が存在します。

- しかし、D&Mは、ベインキャピタルがTOB計画を中止する、あるいは、D&M取締役会がTOBを支持しない、などの可能性はほとんどないと考えています。

本公開買付完了後、ベインキャピタルは、D&Mの非公開化に向けた手続きを進める予定です。<sup>10</sup>